

平成25年度野幌森林再生活動連絡会を開催

今年の野幌森林再生活動連絡会は2月20日に江別市の大麻公民館（えぼあホール）にて開催しました。出席者は野幌森林再生の団体型森林づくりで活動している5団体とオブザーバーとして空知総合振興局及び開拓記念館が参加し、主催側として北海道森林管理局技術普及課、石狩森林管理署と事務局の石狩地域森林ふれあい推進センターの計19名で熱心な論議や意見が交わされました。



各団体の活動状況

事務局より平成25年度の各団体の活動状況、実績を報告。今年度は新たに協定を延長しての1年目でしたが、下草刈と観察会などを中心とした報告でしたが、一部箇所によっては苗木の活着が悪く、補植を行っているとの報告もありました。

連絡・留意事項

現地の植栽地において、野幌の在来種では無いコバノヤマハンノキが生育しています。植栽段階では見分けがつかなかったものですが、モニタリング検討委員会では昨年秋に現地検討会を実施し、当面経過を観察、周りの環境に大きな影響を及ぼすようならその時点で考えたいとしています。

また、外来種であるニセアカシアについて、過去に調査、試験伐採をしたことがありますが、植栽地周辺で新たに生育している情報があれば協力を要請。

自然林再生に関する情報提供

事務局から最近の国有林の取組状況を報告。



意見交換



○下草刈もそろそろ必要無いくらい。つる切りを一部実行。○土壌の悪い箇所でも何度も補植を実行。どこまで植えるべきか、何を植えたら良いか迷う。
○湿地部分でヤチダモ補植を実施。下草刈はあと1～2年は必要。○歩行性甲虫や菌類のモニタリング調査を実施。○26年度生育調査予定。○地域の種から育て苗木の植栽を実施してきたが、昨年で中止となっている。何らかの形で今後も継続できないか。
○野幌でもエゾシカの出没が見られ被害が懸念される。

